

5. 地域別構想【栗源地域】

1) 栗源地域の現況と課題

栗源地域は、香取市で面積・人口・世帯数が最も少ない地域です。世帯数は増加していますが、定住人口の減少、少子高齢化が進行しています。

地域の主要な産業は農業ですが、農業従事者の高齢化、後継者不足等がおきています。これらに対応していくためにも、農業と連携した観光や産業の振興が課題となっています。

また、成田国際空港に隣接する立地条件を活かした新たな産業誘致を図り、農業環境等と調和した計画的な土地利用を図ることが期待されます。

■土地利用の課題

地区拠点	【栗源区事務所・岩部交差点周辺】 ・地域の生活を担う商業業務機能等の維持及び誘導 ・既存の公共公益施設等の維持
観光交流拠点	・道の駅くりもと周辺の観光農業の拠点としての機能の向上 ・栗源運動広場周辺の特性を活かした魅力の向上
都市活性化拠点	【大関地区周辺】 ・成田国際空港、主要地方道成田小見川鹿島港線に近接する立地条件を活かした新たな産業系土地利用の誘導
農村集落地等（田園定住地区）	・散在して形成されている住宅地の居住環境や生活利便性の維持、向上
沿道利用検討区間	【主要地方道成田小見川鹿島港線沿道】 ・開発ポテンシャルの高い道路であり、周辺環境と調和した適正な沿道土地利用の誘導 【東総有料道路～一般県道大栄栗源干潟線沿道】 ・交通の利便性を活かした商業業務機能の計画的な沿道利用の誘導
その他	・豊かな自然環境や優良農地の保全、また、ゴルフ場の維持

■交通環境

道路網	<p>【都市連携軸、地域連携軸の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市連携軸、地域連携軸である道路の整備 <p>【地域の生活を支える道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡性を向上する道路の整備 ・交通安全性の確保（道路幅員や線形の確保等） <p>【安全で安心な歩行空間等の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量が多く、歩道が無い区間の安全性の向上
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利便性の向上 ・高速バス利用の利便性の向上（自家用車からの乗り継ぎの確保等）
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市域や地域に散在する観光資源を結ぶ、交通手段別のルートの形成

■自然環境、歴史的資源、景観

自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境や優良農地の保全 ・耕作放棄地の増加や山林の荒廃への対応 ・ホタルの生息する環境の保全
歴史的資源	<ul style="list-style-type: none"> ・神社仏閣の緑等の維持
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津田の自然景観の維持 ・土砂採取等による自然景観等の破壊への対応 ・田園景観の維持

■生活環境

安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者や高齢者など、すべての人が、安全、安心に暮らせる環境の形成 ・地域のコミュニティの維持、形成 ・小学校跡地の活用
快適	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場の改修や整備 ・老朽化した水道施設の更新・改修 ・浄化槽の普及促進

2) 栗源地域の将来の姿

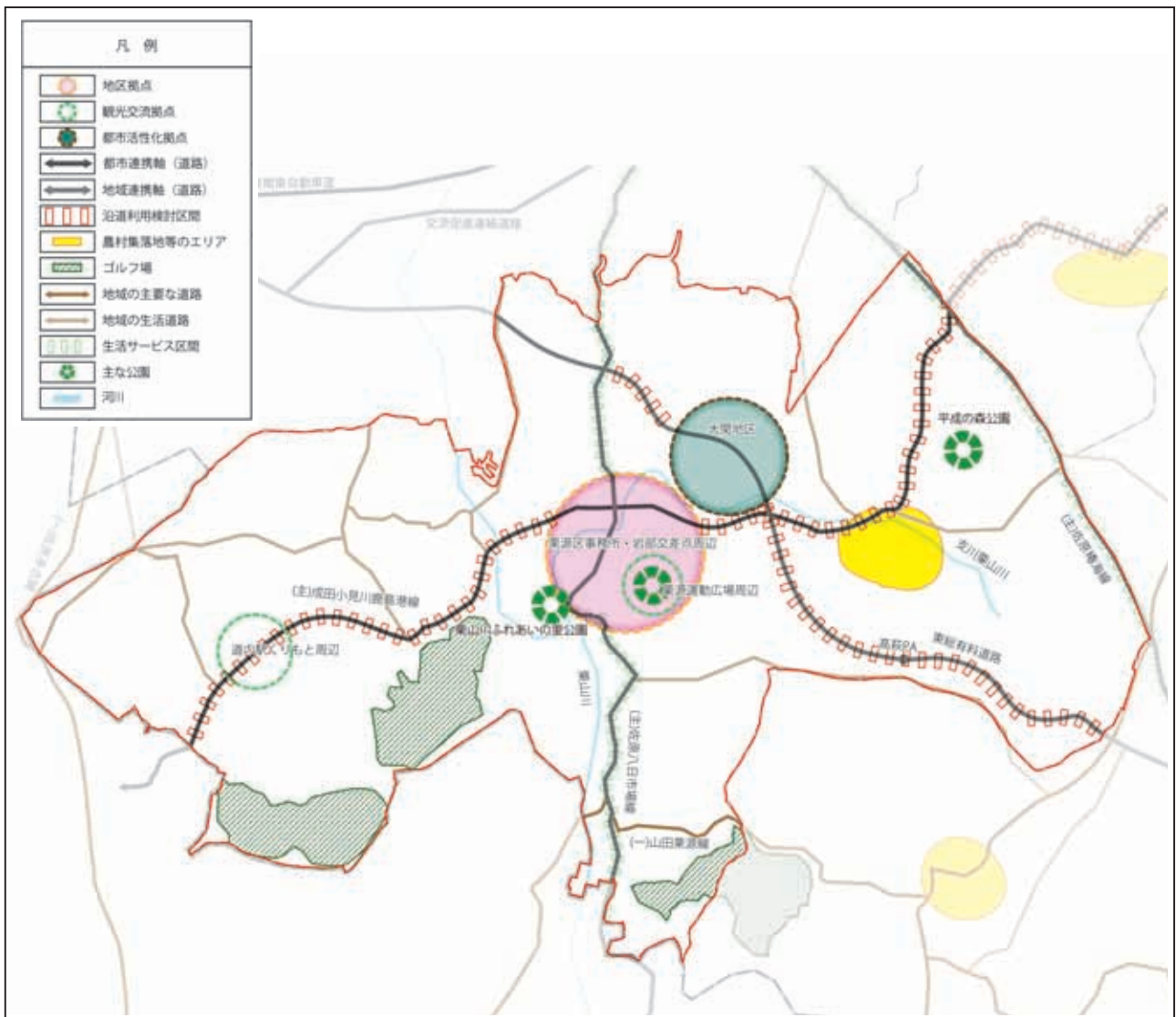
(1) 地域の将来像

豊かな自然環境の中で農業を中心とした交流のあるまちづくりを目指します。また、成田国際空港に近接する利便性を活かした産業の誘導を目標とし、地域の将来像を次のとおりとします。

「農業と新たな活力の調和したまち 栗源」

(2) 地域の将来構造

全体構想の香取市の将来都市構造を基に、地域内を結ぶ主な道路、地域の潤いを創出する河川、憩いの場となる主な公園、農村集落地等の生活を支える身近な商業業務機能の立地するまたは立地を可能とする道路沿道（生活サービス区間）を配置します。



3) 地域づくりの方針

(1) 土地利用の方針

豊かな自然環境と共生し、主要産業である農業と成田国際空港に近接する立地特性を活かした多様な交流が生まれる土地利用の形成を目指します。

①地域の特性を活かし、住みつづけられる土地利用の形成

-1. 地域の個性を活かした、田園定住区域の形成

- ・岩部、高萩、沢地区等の農村集落地を維持するとともに、定住を支えるゆとりある住宅地の形成を図り、農村集落地が農地や里山と共生する田園定住区域の形成を図ります。
- ・新たな定住者を受け入れるため、空き家情報の収集・提供体制の整備など、農村集落地内の空き家、空き地の有効利用を図ります。
- ・地域内に散在する農村集落地では、現在の集落環境を維持しながら、建替えや改築時には防災性の向上を図り、良好な居住環境の形成を図ります。
- ・農村集落地周辺では、交通問題の発生や田園景観の混乱を防止するため、田園環境と調和する開発を適正に誘導します。

-2. 栗源区事務所周辺（地区拠点）の形成

- ・栗源区事務所周辺は、地域住民の生活や活動を支える拠点として、主要施設の維持・更新を図るとともに、交通安全施設の充実、防災時の避難ルートの確保等、安全で安心な地区の形成を図ります。また、緑化や建物のデザイン等に配慮し良好な景観形成を図ります。

-3. 身近な生活を担う生活サービス機能の維持、形成

- ・商業業務機能が立地している主要地方道佐原八日市場線、佐原椿海線（東総有料道路以北区間）は、身近な生活を担う生活サービス区間とし、商店等の身近な商業業務機能の維持、誘導を図ります。

-4. 学校跡地の有効活用

- ・沢小学校及び高萩小学校跡地は、地域の文化・コミュニティ活動の場として、またはスポーツ・レクリエーション利用など、地域ニーズを踏まえ地域の活性化に資する活用方法を地域住民と協働して検討を行います。

高萩小学校跡



-5. 地域の特性を活かした交流の場の形成

- ・ 農業と地域の活性化を図るため、道の駅くりもと・高萩PAの農産物直売所やクラインガルテン栗源等、農業を活かした都市住民との交流の場の充実・拡大に努めます。
- ・ ゴルフ場は、周辺の自然環境や景観と調和したレジャー・レクリエーションの場としての維持を図ります。また、都市住民との交流など、地域の活性化につながる仕組みづくりを図ります。
- ・ 「かわまちづくり計画」を策定し、栗山川の潤いを活かした憩いや交流の場の整備を図ります。

稲刈り体験(道の駅くりもと)

クラインガルテン栗源



② 田園環境に配慮した土地利用の方針

-1. 沿道利用検討区間の適正な土地利用誘導

- ・ 主要地方道成田小見川鹿島港線、東総有料道路（主要地方道佐原八日市場線以東区間）の沿道利用検討区間は、田園環境と調和する住宅やサービス施設の立地等、適正な土地利用を誘導します。なお、開発にあたっては、交通安全対策や適正な排水施設の整備等を合わせて行うものとしします。

-2. 地域の産業を支え、豊かな環境を創出する自然環境の保全、育成

- ・ 栗山川沿いの農地等、農業振興地域整備計画で農用地に指定されている優良農地は、今後とも農業生産基盤として保全を図ります。
- ・ 多面的な機能をもつ山林は、適正な維持管理を行う仕組みづくりを検討し、保全を図ります。
- ・ 不法投棄の監視や通報、道路沿いの山林の適切な管理等、地域と行政が協力してごみの不法投棄の防止に努めます。
- ・ 地下水や自然環境の保全を図るため、「産業廃棄物最終処分場設置に反対する宣言」を尊重します。

③地域特性を活かした観光の活性化（観光交流拠点の形成の方針等）

-1. 農業観光の拠点の形成

- ・道の駅くりもと周辺は、道の駅やクラインガルテン栗源を中心に農業観光地としての機能の充実に努めます。
- ・栗源運動広場周辺は、周辺の施設や地域資源と一体的に住民の憩いの場として、また、栗源のふるさととも祭りの会場等の観光資源としての活用を図ります。

道の駅くりもと



-2. 観光機能の充実

- ・道の駅くりもとや良好な谷津田の景観ポイントなどの観光資源を紹介するための、また、海外からの来訪者にも対応した案内板等の設置を図ります。

芋掘り体験(道の駅くりもと)



④市域の活力を生み出す都市活性化拠点の形成（大関地区）

- ・主要地方道成田小見川鹿島港線へのアクセス性と平坦な地形を活かし、産業系土地利用の計画的な誘導を図ります。

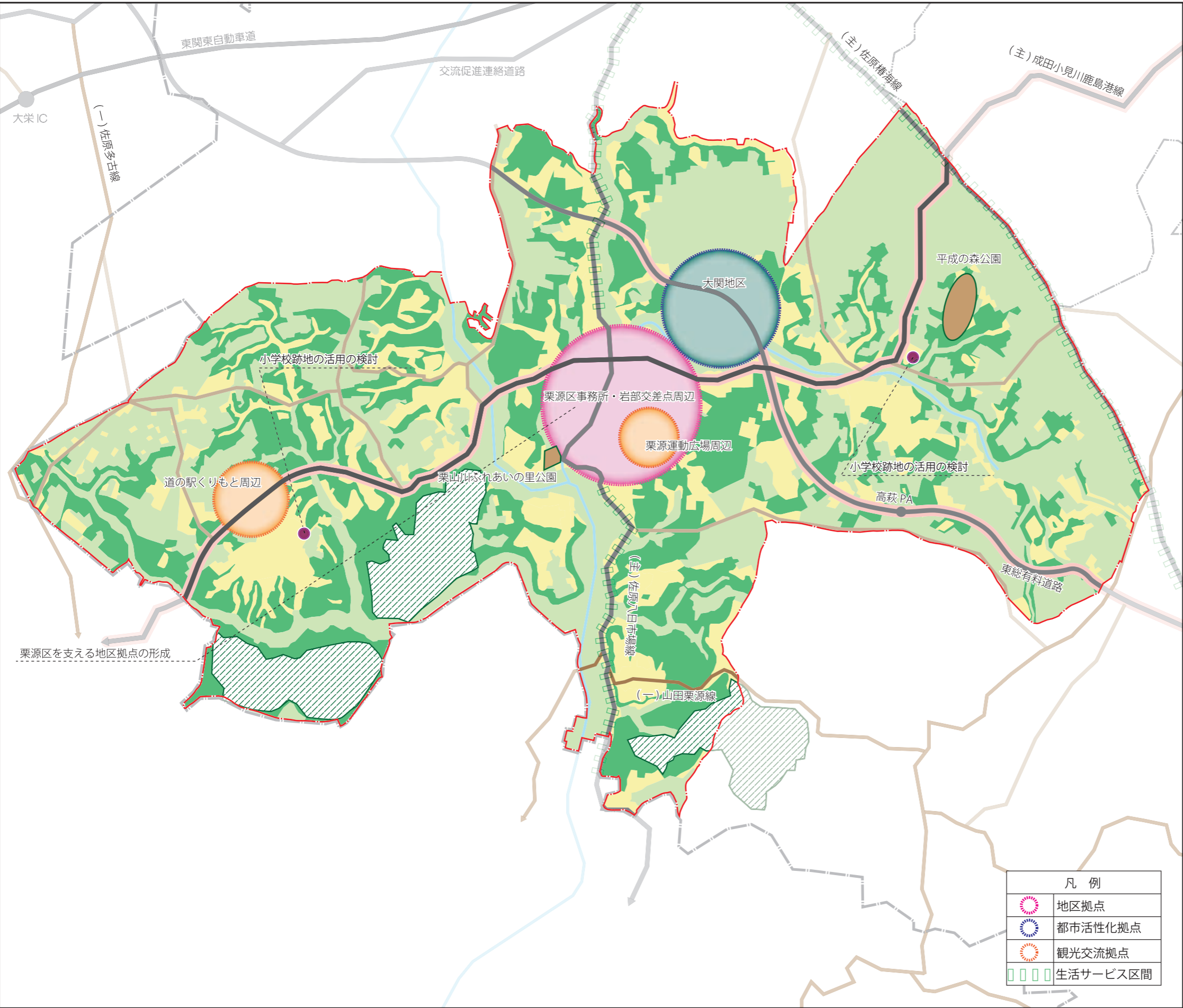
香取市
都市計画マスタープラン
栗源地域
■将来土地利用の方針図

凡例

- 沿道利用検討用地
- 都市活性化用地
- 地区拠点用地
- 観光交流地区
- 田園定住地区
- 農業生産地区
- 森林保全地区
- 公園等
- 河川等
- ゴルフ場
- 都市連携軸（道路）
- 地域連携軸（道路）
- 地域の主要な道路
- 地域の生活道路



- 凡例
- 地区拠点
 - 都市活性化拠点
 - 観光交流拠点
 - 生活サービス区間



(2) 交通環境の方針

① 道路網の整備方針

「香取市幹線道路網整備計画」に基づき、都市連携軸、地域連携軸を形成する道路を骨格に地域内を有機的に連絡する道路網の形成を目指します。

-1. 都市連携軸、地域連携軸の整備

- ・都市連携軸に位置づけられた主要地方道成田小見川鹿島港線は、広域的な人や物流を支える幹線道路として、バイパス等の整備を関係機関に要請します。
- ・地域連携軸に位置づけられた主要地方道佐原八日市場線や佐原椿海線及び将来、無料化される東総有料道路は、佐原市街地や隣接市町との連絡や交流を支える道路として、線形の改良や歩道の整備等、安全な道路の整備を関係機関に要請します。

佐原八日市場線



-2. 地域をつなぎ、生活を支える道路網の形成

- ・地域内を連絡する一般県道山田栗源線、地域と地域外南北を連絡する一般県道佐原多古線を地域の主要な道路とし、道路利用の安全性、利便性の向上を関係機関に要請していきます。
- ・連携軸等の主な道路をつなぎ、地域の生活を支える主な市道を地域の生活道路とし、適正な維持・管理を図るとともに、地域内をつなぐ道路の改良等を図ります。
⇒主要地方道成田小見川鹿島港線をつなぐ市道Ⅱ-57号線・Ⅱ-58号線の整備（荒北橋の改修、現道拡幅等）
⇒一般県道佐原多古線をつなぐ市道Ⅱ-53・Ⅱ-56号線の整備（現道拡幅等）

-3. 安全で安心な歩行空間等の確保

- ・生活拠点や教育施設周辺の道路は、歩行者の安全性を確保するため、歩道の設置や交通安全施設の整備を行います。

新栗源小学校開校



②公共交通の整備方針

「香取市地域公共交通総合連携計画」に基づくバス利用の利便性の向上を目指します。

- ・路線バスの利用者の増加をはかり、路線バスの維持・存続を図ります。
- ・地域の状況やニーズ等の変化に対応した利便性の高い循環バスの運行を図ります。
- ・東総有料道路に運行している高速バスのバス停周辺では、利用者の駐車スペースの確保や待合所等の環境整備を図り、高速バスの利便性の向上を図ります。

栗源停留所(高速バス)



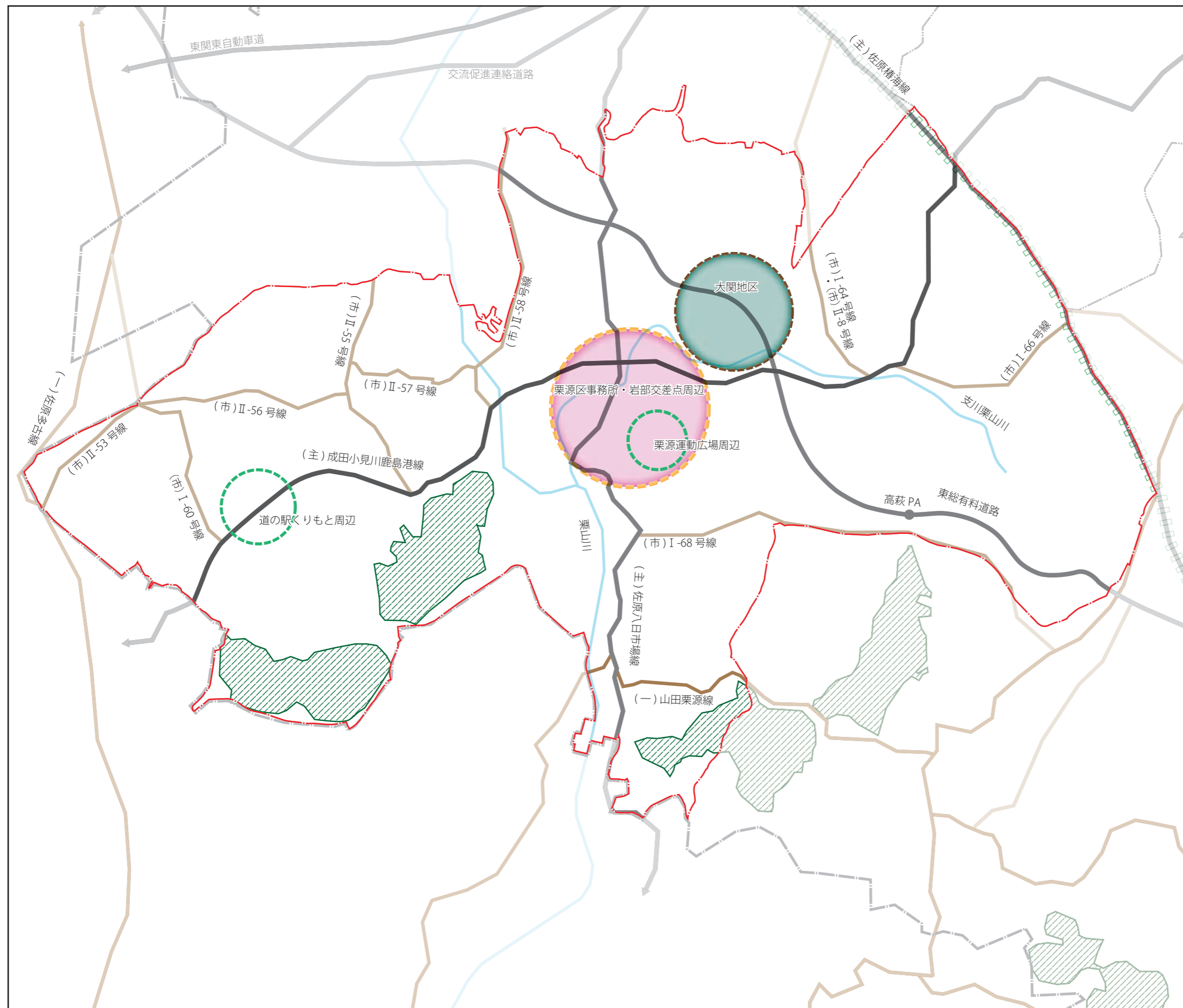
③観光振興を支えるネットワークの形成

歩行者、自転車、自動車・バス等の交通手段により、地域内の観光資源を結ぶ多様なルートの形成を目指します。

- ・交通結節点である佐原駅、水の郷さわら、小見川駅、また、観光交流拠点である道の駅くりもと周辺や栗源運動広場周辺を結ぶ回遊性のあるルートの形成についての調査を行います。
- ・観光交流拠点とその周辺の自然や歴史的資源を結ぶ散策ルートの形成についての調査を行います。
- ・高速バスの停留所である高萩PAから、地域内の観光交流拠点を結ぶ公共交通等の導入についての調査を行います。

高萩休憩所

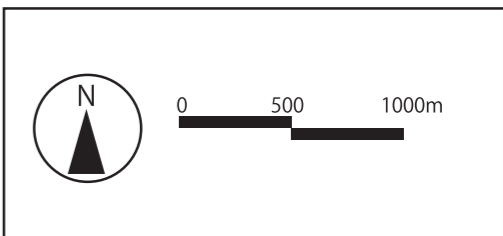




香取市
都市計画マスタープラン
栗源地域
■将来道路網図

凡例

- 都市連携軸 (道路)
- 地域連携軸 (道路)
- 地域の主要な道路
- 地域の生活道路
- 地区拠点
- 観光交流拠点
- 都市活性化拠点
- 河川
- ゴルフ場



(3) 自然環境、歴史的資源、景観の方針

豊かな自然環境や自然景観の保全、育成を図るとともに、地域を活性化する資源としての活用を目指します。

① 自然環境及び歴史的資源の保全と活用の方針

まとまった緑や谷津田及び農業を支える農地等の自然環境の保全、育成、また、地域に残る歴史的資源の維持を図ります。それとともに、都市住民との交流の場としての活用を目指します。

-1. 自然環境の保全・活用

- ・ 栗山川沿いの農地に連続する斜面林と栗山川の水辺環境の保全を図ります。
- ・ 集落地の背景となっている一団の山林や照葉樹が生育する自然度の高い山林の保全を図ります。

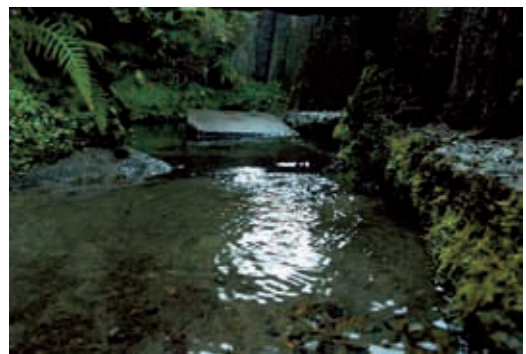
栗山川



-2. 里山・里川の保全

- ・ 里山は、身近な自然の場としての活用を図るため、里山制度の活用等により、里山、里川の保全を図ります。
- ・ 高齢化等により手入れが十分でない里山については、都市住民等、多様な人々の参加を得て里山の維持・管理を図ります。
- ・ ホタルの生息場所となっている水辺の保全を図ります。

中白清水



-3. 水とみどりのネットワークの形成

- ・ 支川栗山川の水辺環境の保全を図るとともに、河川に沿って歩行者等が移動できるよう散策路や通路の整備を検討し、水とみどりのネットワークの形成を図ります。

-4. 地域に残る歴史的資源の維持

- ・ 神社仏閣等の地域に残る歴史的資源の維持、保全を図るとともに、交流資源としての活用を図ります。

②景観形成の方針

栗源地域の有する多様な景観の維持、形成を目指します。

-1. みどり豊かな集落景観の保全

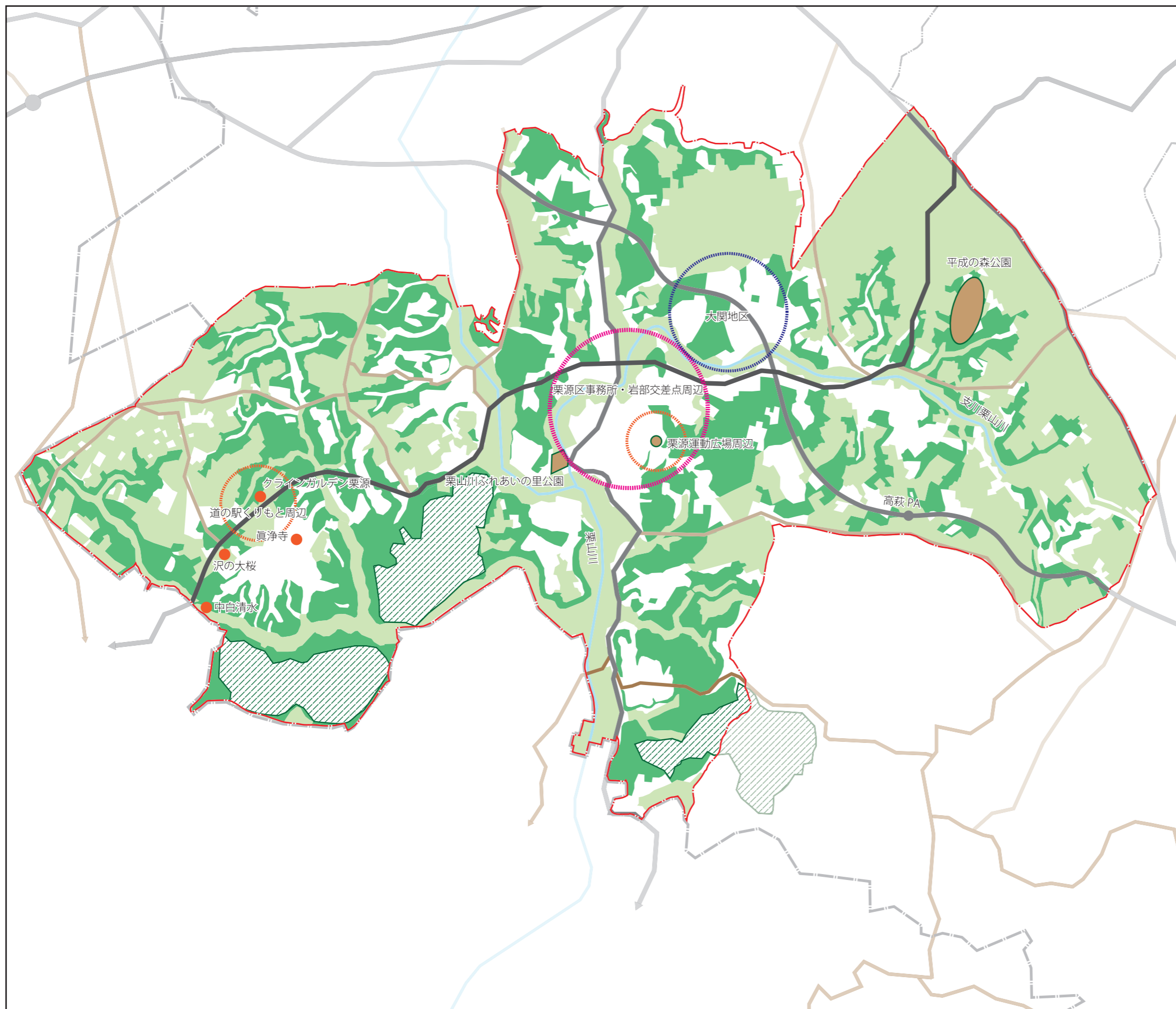
- ・農村集落の屋敷林や生垣の維持・管理に努めて、みどり豊かな集落景観の保全を図ります。

-2. 北総台地の景観保全

- ・地域南部の谷津田等、北総台地の代表的な景観である谷津田景観の保全を図ります。
- ・緩やかな起伏のある台地景観の保全を図ります。
- ・山砂採取を行う場合は、現況の景観への配慮や採取跡地の緑化による周辺環境との一体的な景観の形成(再生)等への協力を要請するなど、適正な管理に努めます。

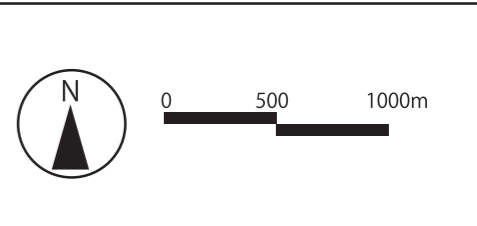
栗源地域の田園風景





香取市
都市計画マスタープラン
栗源地域
■自然環境、歴史的資源、
景観の方針図

- 凡 例
- 優良な農地の保全
 - 緑の保全・育成
 - 河川の水質浄化・潤いのある空間の創出
 - 地域の主な資源等の保全・活用
 - ゴルフ場
 - 都市連携軸（道路）
 - 地域連携軸（道路）
 - 地域の主要な道路
 - 地域の生活道路
 - 地区拠点
 - 都市活性化拠点
 - 観光交流拠点



(4) 生活環境の方針

地域の中で誰もが安心して、健康的に暮らしていけるまちづくりを目指します。

①安全、安心な生活環境の形成の方針

- ・地域の医療、福祉機能の維持を図るため、関係機関への要請等に取り組みます。また、佐原地域や小見川地域の医療・福祉施設等の利用の利便性の向上に努めます。
- ・情報通信網の整備を進め、医療、福祉のネットワーク化による情報提供や高齢者、障害者等の生活支援について調査を行います。
- ・生涯学習やスポーツ、地域のコミュニティ活動の場として、学校施設の開放を図ります。また、沢小学校及び高萩小学校跡地は、地域住民との協働により、地域の文化・コミュニティ活動の場等としての跡地活用を検討し、地域の状況に配慮した利用を図ります。
- ・集落内では防犯灯の設置など、安全性の向上を図ります。
- ・地域防災計画に基づいて、防災対策を進め、災害に強いまちづくりを進めます。
- ・河川の治水対策、土砂災害等の災害防止策を進めます。また、集中豪雨による浸水被害に対する排水対策を図ります。
- ・排水不良地域では、地域環境の改善等に合わせた排水施設の整備を進め、排水不良地域の解消を図ります。

沢地区防災訓練



②快適な生活環境の形成の方針

市民の生活環境を支える基盤施設の計画的な整備を図ります。

-1. 公園・広場の計画的な整備

- ・栗山川ふれあいの里公園の利用増大を図るとともに、地域住民の憩いの場として誰もが利用しやすく親しみのある空間づくりを図ります。
- ・平成の森公園は、自然とのふれあいの場として維持・管理を図るとともに、自然環境の体験・学習の場としての活用を図ります。
- ・地区拠点や農村集落地また主要な道路沿道に、ポケットパーク等の休憩の場の確保を図ります。

栗山川ふれあいの里公園



平成の森公園



-2. 河川の整備

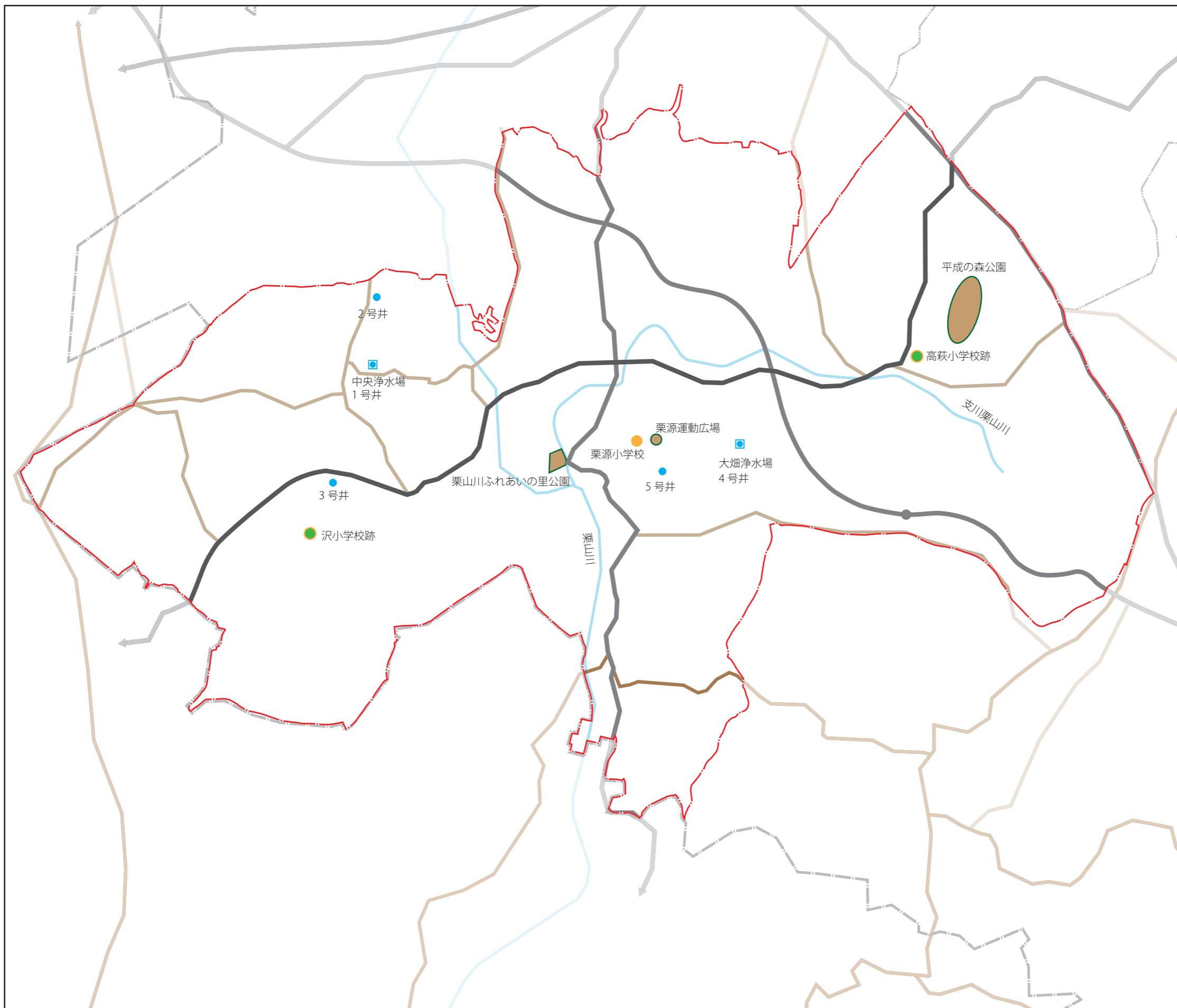
- ・栗山川や支川栗山川等を利用した潤いのある親水環境の創出を図ります。

栗山川カヌーツーリング



-3. 上水道、下水道等の整備

- ・老朽化した水道施設の計画的な更新・改修を図ります。
- ・栗源地域の水道水源である地下水の保全を図ります。
- ・浄化槽の普及促進に努めます。



香取市
都市計画マスタープラン
栗源地域
■ 生活環境の方針図

凡 例

- 小学校：地区のコミュニティの場としての活用
- 取水地点
- 浄・給水場
- 増圧ポンプ所
- 近隣公園以上の公園
- 都市連携軸（道路）
- 地域連携軸（道路）
- 地域の主要な道路
- 地域の生活道路

